

令和4年度



愛する海で

あなたの安全を

守ります

北海道積丹半島神威岬(カムイ岬)



海の水難救済ボランティア

公益社団法人 日本水難救済会



名誉総裁
高円宮妃久子殿下

高円宮妃殿下におかれましては、
初代名誉総裁高円宮殿下のご遺志を受け継がれ、
平成15年2月19日付で本会の名誉総裁にご就任いただきました。
妃殿下には、在りし日の殿下とともに海に親しまれ、
海の大切さ、海の厳しさについてのご造詣が深く、
ボランティアで海難救助にあたる本会の役割の重要性を
強くご認識いただいております。

“青い海、明るい海、豊かな海”を永遠に

我が国は、6,800からの島々から成り立ち、海岸線の総延長は、約34,000kmにも及び、古来より海から大きな恵みを受けてきた海洋国です。

一方、海は時として私たちに厳しい試練を与えます。

洋上で働く人々は、常に怪我や病気の不安に晒され、また、沿岸でのマリレジャーでも様々な海難が発生しています。

このような中、海を愛する心と奉仕の精神を持つボランティアの方々が自らの危険を顧みず、人命救助に懸命に取り組んでいます。

公益社団法人 日本水難救済会は、全国約50,000人のボランティア救助員を支援し、その活動を支えています。

海の恵みに感謝するとともに、安全な海を永遠にと願って…。



公益社団法人 日本水難救済会(マリン・レスキュー・ジャパン)は、

沿岸海域で遭難した人や船の救助に駆けつける民間ボランティア救助員を支援するとともに、遙か洋上の船舶の傷病船員等に対する救急医療事業を運営する団体です。

■ 海の犠牲者ゼロを目指して

わが国は小さな島国ですが長大な海岸線を有し、その沿岸海域では船舶海難や海浜事故が発生しておりますが、船舶海難や海浜事故に迅速かつ的確に対応することは、海上保安庁や警察・消防など国や地方自治体による公的な救難体制だけでは困難です。

このため、全国の臨海道府県には民間ボランティア団体である40の地方水難救済会が設立されており、これら地方水難救済会の傘下にある救難所及び同支所が全国津々浦々に1,300ヶ所以上も設置され、海難発生等の一報を受けたときはこれらに所属する総勢約5万名のボランティア救助員が、荒天暗夜をも厭わず、生業を投げ打ってでも直ちに搜索救助活動に対応する体制をとっています。

本会は、こうしたボランティア救助員の救難活動を支援するために、明治22(1889)年に創設されて以来、130年余の長い歴史がある団体ですが、これまで沿岸海域における人命・財産の救助において輝かしい実績と伝統を誇っております。

また、沿岸海域のみならず、遙か洋上の船舶内で傷病者が発生した場合に、海上保安庁の船艇・航空機等により医師を現場に派遣し、傷病船員等を収容して応急手当を施しつつ、最寄りの医療機関まで救急搬送するという、世界で唯一の洋上救急事業も運営しています。

このような本会の活動に対しまして、皆さまのご理解と更なるご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



公益社団法人日本水難救済会
会長 相原 力

■ 日本水難救済会の取り組み

本会は、海上保安庁、消防庁、水産庁等の関係省庁及び地方自治体のご指導、日本財団、日本海事センター、大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、日本漁船保険組合、日本船主協会、全日本海員組合などの海事関係団体及び全国の多くの医療機関並びに国民の皆様のご支援により水難救済に関する各種事業や洋上救急事業等に取り組んでいます。



青い羽根募金

全国津々浦々の救難所に所属するボランティア救助員の活動は、皆様の「青い羽根募金」によって支えられています。

我が身を顧みず人命救助に尽くす、日本における水難救済の歴史。
それは、讃岐琴平の地に始まる……

明治時代

明治19年(1886)10月

イギリスの貨物船「ノルマントン号」が紀州大島沖で座礁沈没し、乗っていた日本人25人が全員水死した事故の経緯や結果をみて、『海の守り神』として信仰されている「金刀比羅宮」の宮司琴陵宥常氏が海上安全を祈願しながら水難救済制度の必要性を痛感



金刀比羅宮本宮

明治21年(1888)5月

金刀比羅宮宮司琴陵宥常氏は明治20年11月に発行された黒田清隆伯爵の欧米旅行日誌である「環游日記」を目にし、露国に模範となる組織があることを知り、水難救済会の創立を発起



琴陵宥常氏の像

明治22年(1889)3月

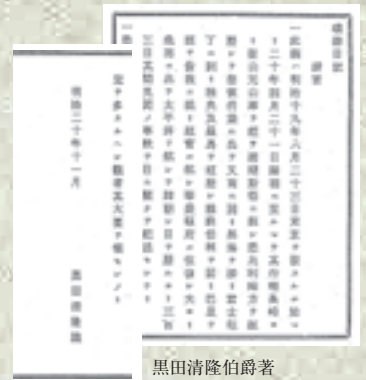
金刀比羅宮宮司琴陵宥常氏は、当時の総理大臣黒田清隆伯爵に会い、日本水難救済会の設立について賛同を得るとともに、海軍や逓信省の上級幹部及びその他有志の賛成を得たのち、5月8日香川県知事に創立願を提出

明治22年(1889)11月3日

金刀比羅宮 宮司 琴陵宥常氏の発起により、讃岐琴平の地で「大日本帝国水難救済会」が発会
「大日本帝国水難救済会規則」を制定
琴陵宥常氏が初代会長となる



初代総裁 有栖川宮威仁親王殿下



黒田清隆伯爵著
「環游日記」抜粋

明治23年(1890)4月16日

ありすがわのみやたけひとしんのう
有栖川宮威仁親王殿下を初代総裁に推戴(大正2年7月10日薨去)

明治25年(1892)5月

「大日本帝国水難救済会規則」を改正、本会の根本法規となる

明治25年(1892)6月

本部を東京芝公園内に移転

明治28年(1895)3月

本部を東京麴町に移転



有栖川宮威仁親王殿下 直筆書(護国)



救難所、見張所に掲げられた標旗
(明治32年度事業報告より)



大日本帝国水難救済会
の事業報告(明治32年)

明治29年(1896)2月~3月

本会事業を国家経営とすべきとの建議案が
帝国議会議院・貴族院両院で可決

明治30年(1897)4月

国家経営困難、毎年補助金下附決定

明治30年(1897)5月

伯爵吉井幸蔵氏本会会長に就任

明治31年(1898)11月7日

民法の制定・施行に伴い、定款を制定し、
明治31年10月26日逓信省に許可を得て、
「社団法人 大日本帝国水難救済会」と名称変更

明治37年(1904)11月27日

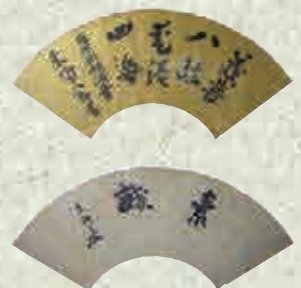
「社団法人 帝国水難救済会」と名称変更

◆敵兵を救助した水難救済会の人道主義に東郷提督が感謝

明治38年(1905)、日露戦争の日本海海戦で日本海軍はロシアバルチック艦隊を撃破、この時2名の敵兵が水難救済会によって救助された。

この人道主義の発露ともいべき水難救済会の行動に東郷提督は心を打たれ、水難救済会のために黄金色の扇に「義普 八紘愛續 四海」の書を残しています。

意味は、水難救済会の正しい活動(義)が国内外隅々に(八紘)普く広がり、愛が世界の海(四海)に広がる(続く)と解釈できます。



「義普 八紘愛續 四海」元帥海軍大将 東郷平八郎 書

大正時代

大正2年(1913)8月7日

東伏見宮依仁親王殿下を二代目総裁に推戴
(大正11年6月27日薨去)

大正4年(1915)3月

有功章制式を変更し、会員章を制定

大正11年(1922)8月2日

伏見宮博恭王殿下を三代目総裁に推戴
(昭和21年3月2日ご退任)

大正12年(1923)9月

関東大震災により本部建物等焼失、吉井会長邸に仮事務所設置～
大正14年4月 事務所等復旧永代河岸に移転

大正13年(1924)7月

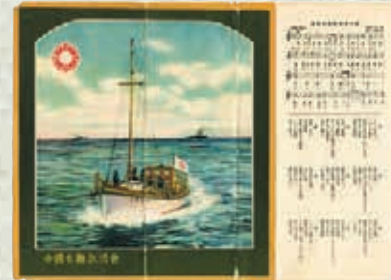
英国ロンドンで開催された英国救命艇協会主催の「国際水難救済会議」に
帝国水難救済会吉井会長出席、以後昭和3年、7年、11年、50年、62年、平成3年にも出席



大正11年7月、東京救難所に配属された救助機艇「あやせ」



帝国水難救済会事業報告
(昭和17年)



帝国水難救済会発行の会報に掲載された
水難救済会の歌(昭和3年)

昭和時代

昭和4年(1929)1月8日

「海の赤十字」天皇陛下、皇后陛下、皇太后陛下、各宮殿下に献上

昭和14年(1939)11月

東京九段軍人会館で本会創立50周年記念式典を挙げる

昭和24年(1949)4月1日

社団法人 日本水難救済会と名称変更

昭和25年(1950)7月17日

「青い羽根募金」開始、7月17日から23日まで、「海難救助施設強化整備資金」造成の一助として海上保安庁後援の下に街頭募金を実施

昭和60年(1985)10月1日

本会に洋上救急センターを設置、洋上救急事業を開始

昭和63年(1988)9月14日

特定公益増進法人に認定



昭和3年発行の「海の赤十字」
外国の水難救済機関を紹介



昭和10年9月大阪救難所に配属された
救助機艇「くすのき」



巡視船「うらが」船上にて行われた
洋上救急事業開始披露祝賀会

平成時代

平成元年(1989)11月3日

本会創立100周年の記念行事として10月26日に東京港で救難訓練全国大会、同27日に日本海運クラブで記念式典等

平成7年(1995)10月1日

洋上救急制度創設10周年の記念行事として10月4日に日本海運クラブで記念式典を挙げる

平成9年(1997)6月12日

定款の一部を改正し、本会の支部を地方組織としての独立化を推進

平成13年(2001)2月14日

全臨海都道府県41ヶ所に地方組織(地方水難救済会)を整備

平成13年(2001)7月25日

高円宮殿下を初代名誉総裁に推戴
(平成14年11月21日薨去)

平成15年(2003)2月19日

高円宮妃久子殿下を二代目名誉総裁に推戴

平成19年(2007)6月

国際海難救助連盟設立総会に出席

平成23年(2011)4月1日

公益社団法人 日本水難救済会へ移行

平成27年(2015)10月1日

洋上救急制度創設30周年の記念行事として10月5日 高円宮妃久子殿下のご台臨を賜り、海運クラブで記念式典を挙げる



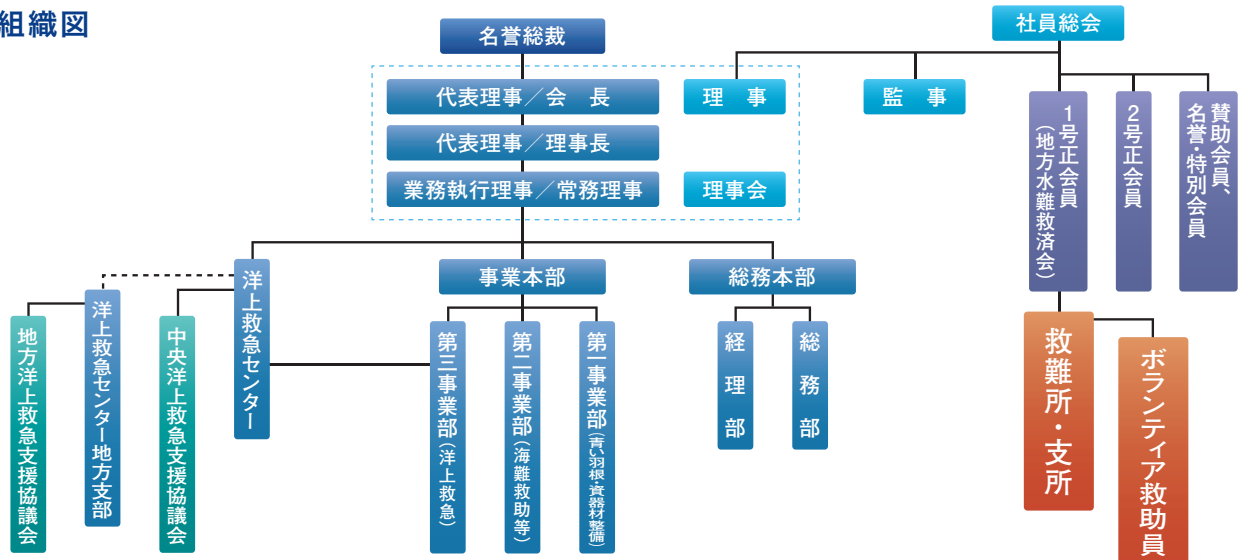
初代名誉総裁 高円宮殿下



洋上救急制度創設30周年記念式典

日本水難救済会の組織と予算

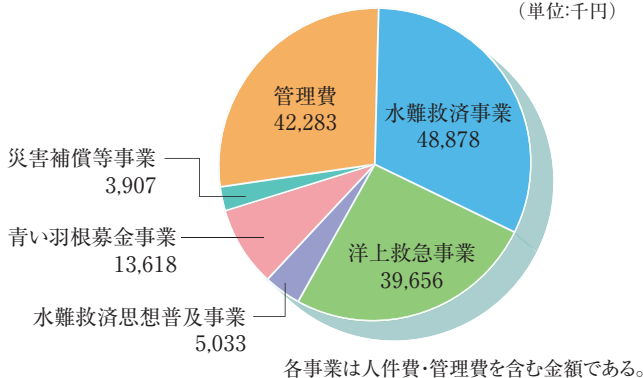
■ 組織図



■ 予算

令和4年度予算額 153,375千円

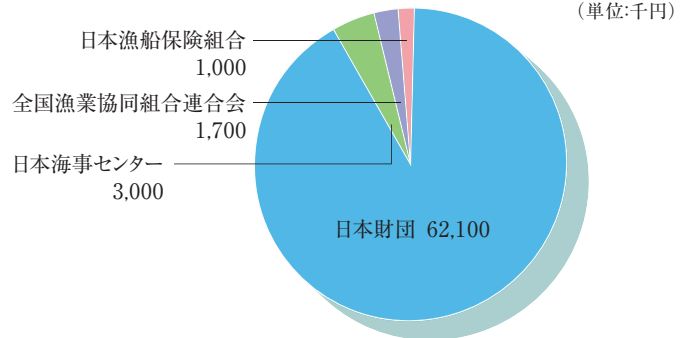
(単位:千円)



各事業は人件費・管理費を含む金額である。

関係団体からの助成金・補助金

(単位:千円)



本会は、日本財団、日本海事センターのほか海事関係団体の助成金等を受けて事業を実施しています。

日本水難救済会の事業

水難救済事業 (災害発生時の救援活動を含む)



海難救助(救助出動報奨事業)

全国各地のボランティア救助員の海難救助活動や災害救援活動に対する報奨として救助出動報奨金の交付

海難(人命)救助訓練

全国各地のボランティア救助員が行う海難(人命)救助訓練や災害救援訓練の実施

救難体制の整備

全国各地のボランティア救助員が行う海難救助や訓練に必要な資器材等の整備

海難救助功労者等の表彰

海難救助等に功績のあったボランティア救助員に対する表彰

洋上救急事業

洋上の船舶で発生した緊急に医師の加療を必要とする傷病者に対して医師・看護師による救急医療及び慣熟訓練

水難救済思想の普及事業

「海の安全教室」の開催や広報活動を通じて水難救済ボランティア活動の理解促進等の推進

青い羽根募金事業

ボランティア救助員による海難救助活動や災害救援活動に使用する救難資器材の整備等に必要な資金を確保するため、広く一般国民を対象とした募金活動の実施

調査研究事業

水難救済活動に関する調査研究の実施

災害補償事業

ボランティア救助員に対する災害補償制度



ヘリコプターによる傷病者吊上げ



海難救助訓練



青い羽根募金

海難救助

—海難救助に馳せ参じる“海の救難ボランティア”

明治22年11月に日本水難救済会設立以来、令和3年12月末までに救助人員は198,221名、救助船舶は40,659隻を数えます。

全国40の地方水難救済会傘下、津々浦々に設置されている約1,300ヶ所の救難所・救難支所に所属している民間ボランティア救助員（“海の救難ボランティア”）は、海上保安部署等の要請に応じて、荒天暗夜をもいとわず生業を投げ打って救助活動に勤しんでいます。



■ ボランティア救助員が救助した主な海難

● 機関室から出火した漁船船長を救助後、消火活動を実施

- 発生日: 令和3年12月3日
- 岩手県漁船海難防止・水難救済会 大船渡救難所



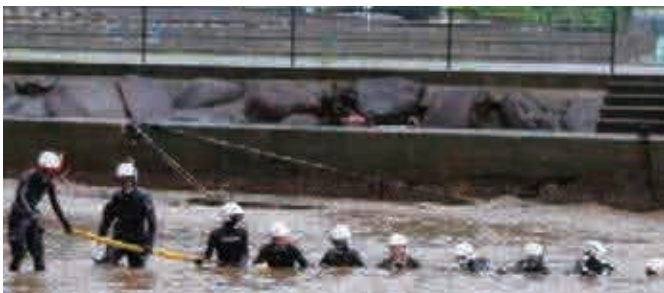
● 沈没したプレジャーボートを救助

- 発生日: 令和3年8月24日
- 公益社団法人福岡県水難救済会 西浦救難所



● 熱海市伊豆山土石流災害での行方不明者を収容及び潜水捜索

- 発生日: 令和3年7月3日
- 静岡地区水難救済会 ICS救難所 静岡広域DRS救難所



● 岩場の浅瀬に乗揚げ、半沈没前の貨物船乗組員5名全員を救助

- 発生日: 平成28年3月13日
- 高知県水難救済会 大月救難所



● 浅瀬に乗揚げ傾いたヨットから救助

- 発生日: 令和元年6月4日
- 公益社団法人 福岡県水難救済会 大岳救難所

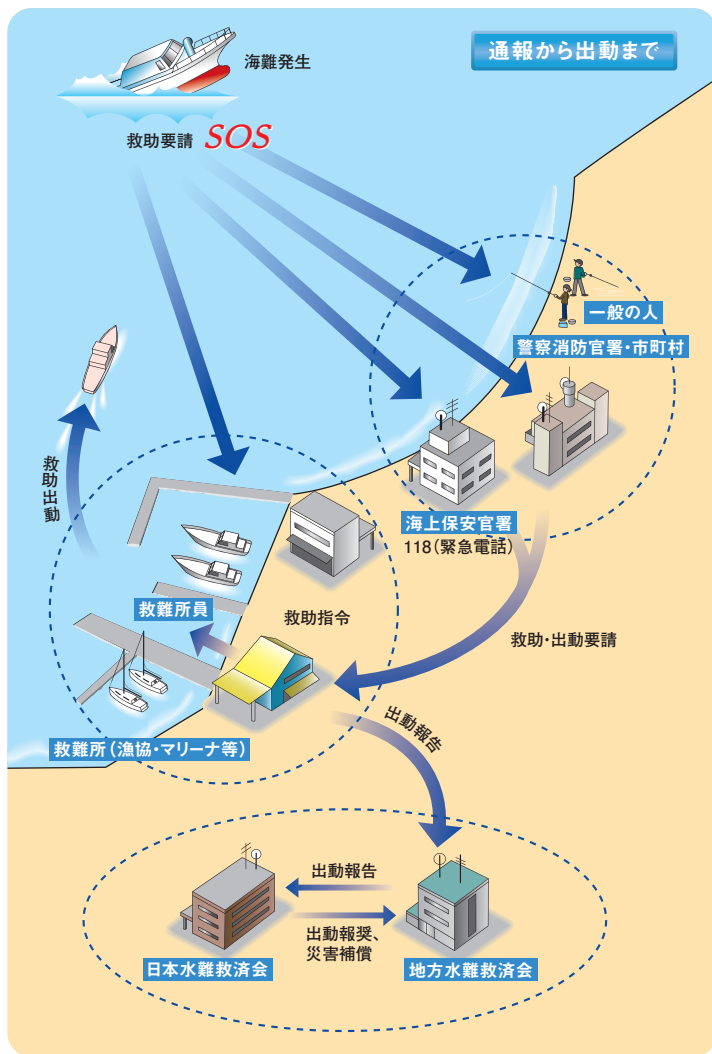


● 突風で転覆した漁船の漂流者を救助

- 発生日: 平成27年9月1日
- 特定非営利活動法人 長崎県水難救済会 上対馬救難所



■ 海難発生から救助出動までの流れ



海上での緊急通報は！

海上保安庁 118番
 又は最寄りの
 警察 110番
 消防 119番へ



海上保安官署

警察署

消防署

船艇・航空機などにより
 捜索・救助活動の実施

海上保安官署や警察署等で対応が困難な場合等、必要に応じ、地方水難救済会傘下の救難所に対して、「救助出動」の要請を行う。



海難だ！
 いざ出動！

■ ボランティア救助員について

○ 救助員になるために

ボランティア救助員になるためには、全国40の各地方水難救済会それぞれが定めた規約に基づきますので、救助員として入会される場合には、それぞれの地方水難救済会にお問い合わせください。

○ ボランティア救助員の構成について

全国のボランティア救助員は、令和4年3月末現在、約50,000人です。
 このうち、漁業関係者は全体の約80%を占めますが、最近では、ライフセーバーをはじめ、マリナーやプレジャーボート、ダイビングなど各種レジャー関係者の入会も多くなってきました。

救 助 出 動 報 奨 事 業

奉仕の精神に報いるために…

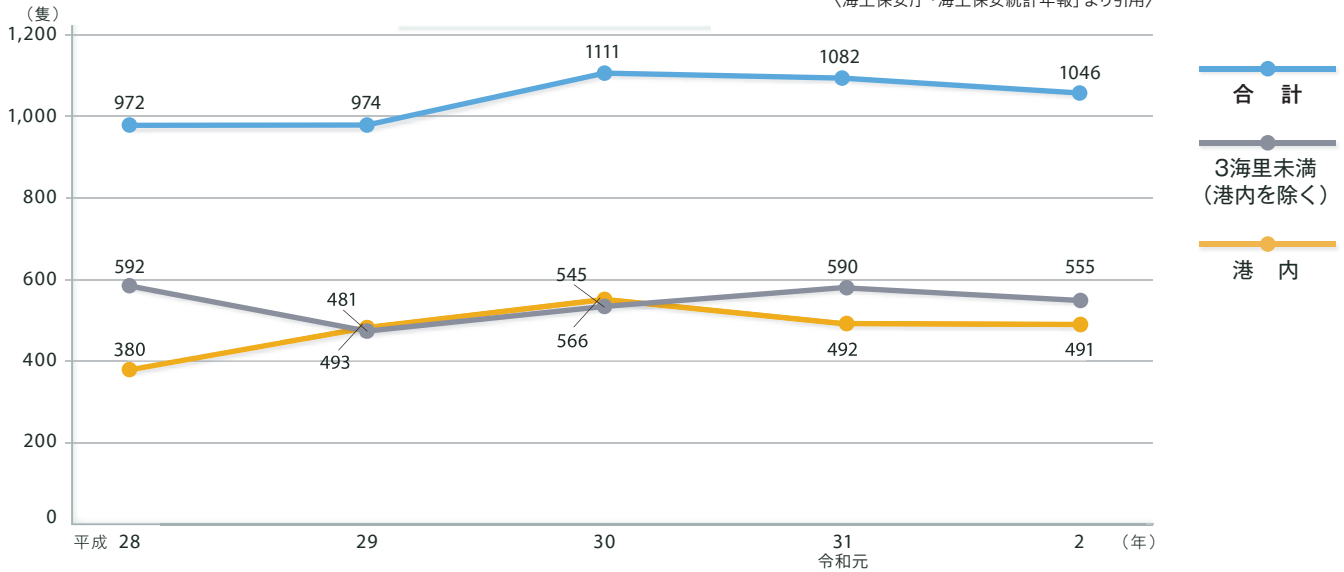
日本水難救済会は、日本財団をはじめ海事関係団体の助成等を受けて、民間ボランティア救助員の献身的な海難救助行為に対し、社会公共の感謝を表す報奨の意味で、出動したボランティア救助員に対して、一定の救助出動報奨金を交付する事業を行っています。

海難船舶及び人身事故の発生状況と海難救助の実績の推移

(総トン数5トン未満)

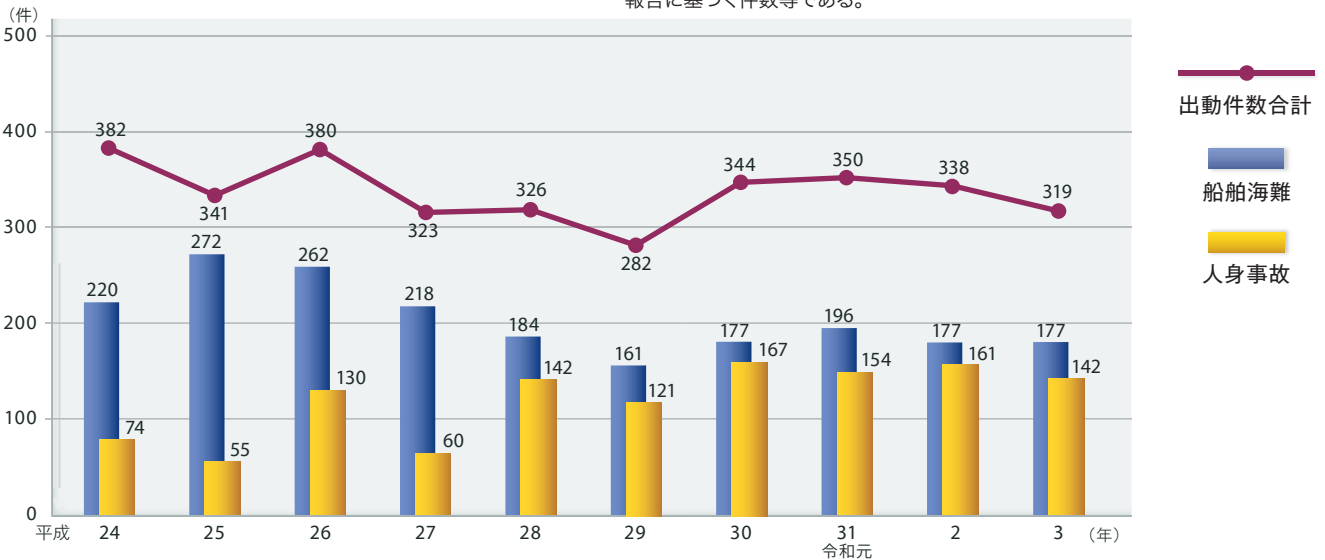
■ 要救助海難発生地点距岸別隻数

〈海上保安庁「海上保安統計年報」より引用〉

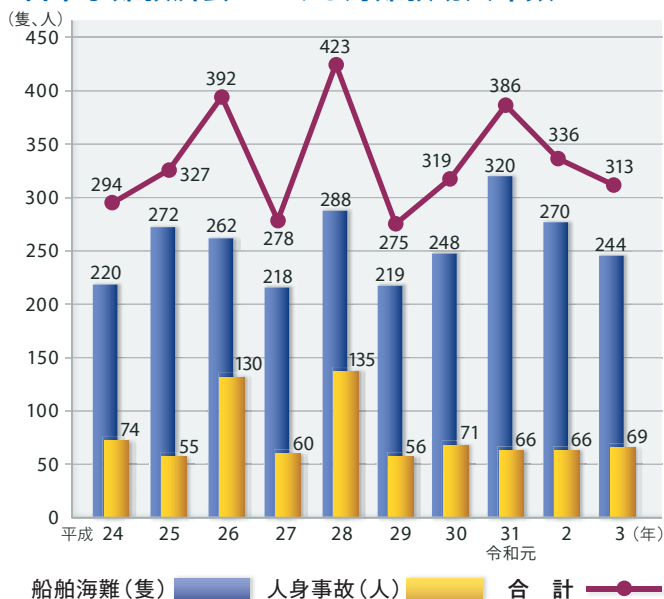


■ 日本水難救済会における海難救助出動件数

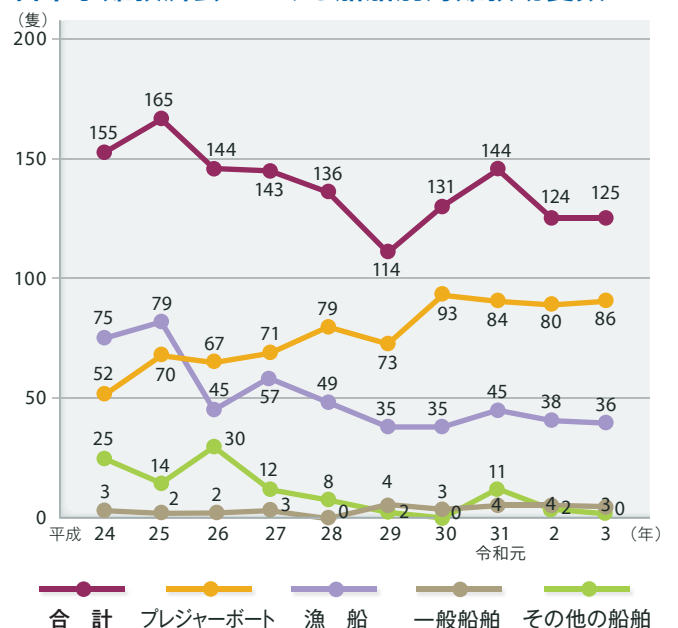
注)日本水難救済会の件数等は、全国の地方水難救済会からの報告に基づく件数等である。



■ 日本水難救済会における海難救助人命数



■ 日本水難救済会における船舶別海難救助隻数



海難救助訓練

事故の無い平和な海を祈りながら、救助技術の向上と安全を確保するため、各地方水難救済会に所属する救難所等の民間ボランティア救助員は各種訓練を実施しています。



■ 救助に必要な知識、技術習得のために！

海難（人命）救助訓練

海難救助は夜間や荒れ狂う海で行われることが多く、遭難した人や船を救助するためには、日頃から救助技術の錬磨とチームワークを養う必要があります。各地方水難救済会に所属する救難所・支所では、いざという時に備えて単独又は関係機関と合同で訓練を実施しています。



訓練前に整列する救助員/熊本県水難救済会牛深救難所

ゴムボートによる孤立者救助訓練 (山形県水難救済会)

岩場・暗礁のある海域や水深の浅い海域では大きな救助船が接近できないことから手漕ぎのゴムボートを活用して救助する訓練を実施しています。



救命索発射器操法訓練 (特定非営利活動法人 長崎県水難救済会)

孤立した者や遭難船に救助用ロープを渡すため、風向きや距離を考慮した救命索発射器の取扱いの訓練を実施しています。



関係機関と連携して遭難者搜索訓練(大分県水難救済会)

救助の効率化をはかるため、海上での行方不明者の搜索訓練を関係機関と合同で実施しています。



火災船消火訓練 (公益社団法人北海道海難防止・水難救済センター)

船舶で発生した火災に対応するため、火災船を想定し、ガンリンポンプによる消火訓練を実施しています。



心肺蘇生法訓練 (特定非営利活動法人神奈川水難救済会)

溺者に対する心肺蘇生法やAEDの取扱い訓練を実施しています。



漂流者救助訓練(京都市水難救済会)

船舶や陸岸から落水し、海に漂流している者を救助船に収容し、海上保安庁の巡視船艇等に引き継ぐ訓練などを実施しています。



火災船救助訓練(島根県水難救済会)

火災が発生した船舶から要救助者を救助船に収容し、要救助者の安全確保するための訓練などを実施しています。



新型コロナウイルス感染症患者搬送訓練(佐賀県水難救済会)

離島にて、新型コロナウイルス感染症患者が発生したとの想定で関係機関と連携し、本土までの搬送手順を確認するとともに、関係機関の連携、職員の対応能力を強化するとともに、離島住民の安心に寄与することを目的とした訓練を実施しています。



地震・津波等災害救援活動訓練

地震・津波等大規模災害発生時における救援活動等に備え、地方水難救済会においては、地方自治体と「災害時における船舶による緊急輸送等に関する協定」の締結に努めるとともに、地方自治体など関係機関が実施する合同の防災訓練に参加し、各種災害に対応するために訓練を実施しています。



物資輸送訓練(和歌山県、鳥取県各水難救済会)

官民一体となった大規模災害を想定した防災訓練で物資の輸送訓練に参加し、巡視船艇から物資を受け取り、孤立した陸上に海上から搬送する訓練を実施しています。



漂流者救助・移送訓練(静岡地区水難救済会)

海面で漂流している要救助者を救助船等に収容する訓練を実施しています。

■ 全国の主要救難所に救助船を配備

日本水難救済会所属の救助船は、日本財団や日本郵便株式会社の助成等を受けて全国の主要な救難所に計20隻配備され活動中ですが、各地方水難救済会傘下の救難所では、救助員等自ら所有する漁船や小型船舶及び水上バイクなどを主に使用して海難救助活動にあたっています。

救助船 旭龍(長崎県水難救済会稲佐救難所)



洋上救急

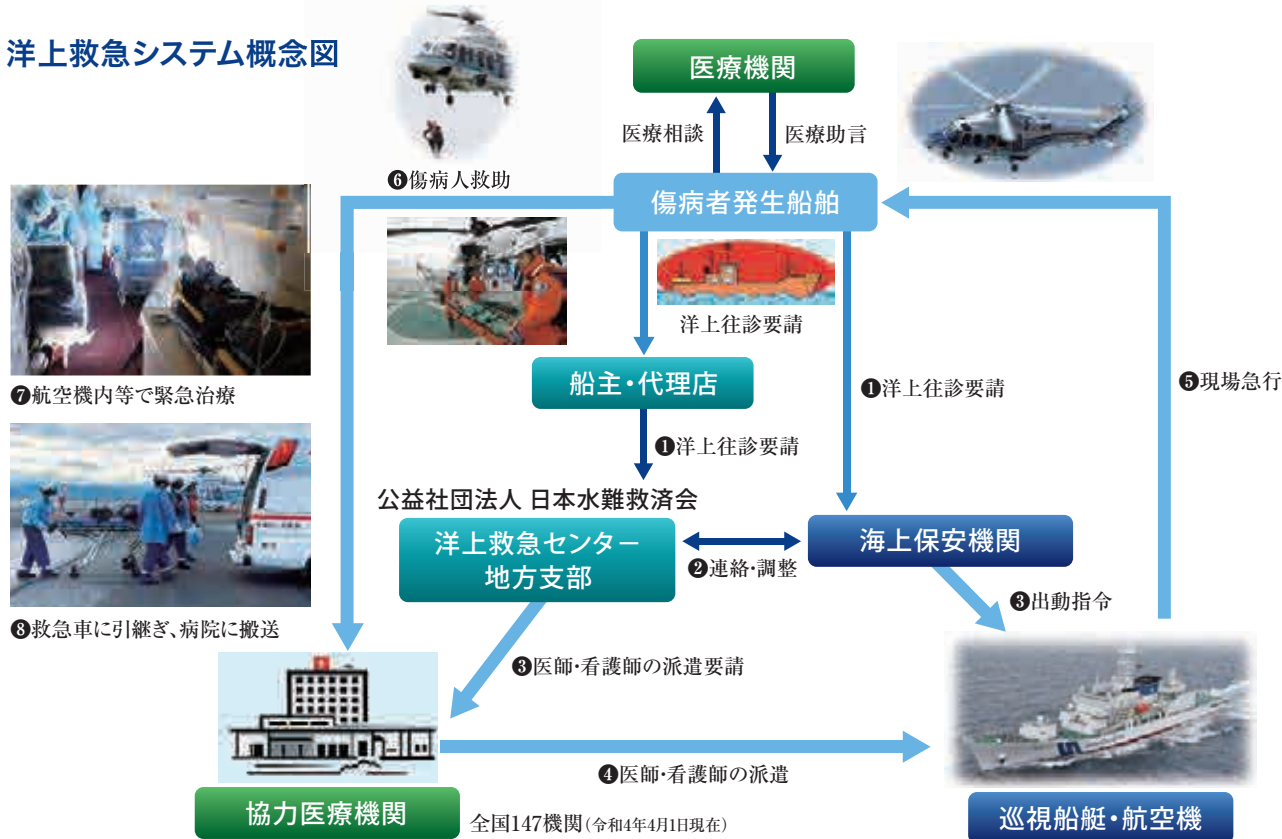


洋上救急とは、我が国周辺海域又は遙か洋上の船舶内で傷病者が発生し、緊急に医師の加療を必要とする場合、海上保安庁の巡視船・航空機又は自衛隊機の協力を得て本会の協力医療機関の医師・看護師等を現場に派遣し、傷病者の応急治療を行いつつ、最寄りの病院に緊急搬送する世界で唯一のシステムです。

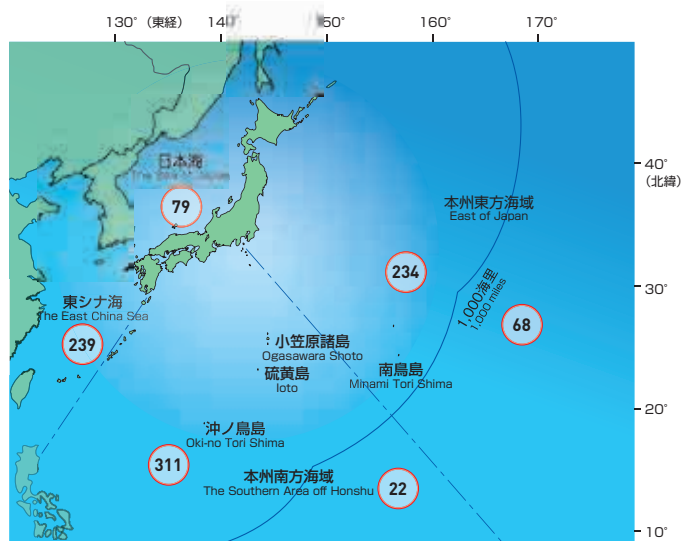


海上の傷病者を救う世界で唯一のシステム“海の救急医療”として昭和60年10月から運用しています。

洋上救急システム概念図



洋上救急事案の発生海域図



○内数字は海域別発生件数を示す
○総発生件数953件(昭和60年10月1日から令和4年3月31日)



海自ヘリコプター内で医療処置を実施(写真提供:海上自衛隊)



海自ヘリコプターから海保航空機へ搬送

洋上救急事例

◎ 海上保安庁航空機と海上自衛隊ヘリコプターが連携し、木材チップ船乗組員を搬送

令和3年7月10日午後5時24分頃、八戸向け航行中の木材チップ船船内で脳卒中の症状を訴える病人が発生したため当該船舶から海上保安庁に対し洋上救急の要請があった。これを受け、7月11日午前2時30分、第三管区海上保安本部羽田航空基地所属LJ500に日本医科大学附属病院救命救急センター医師2名及び特殊救難隊3名が同乗し羽田航空基地を出発。

同日午前3時21分海上自衛隊硫黄島救難隊所属UH-60Jも硫黄島を出発。

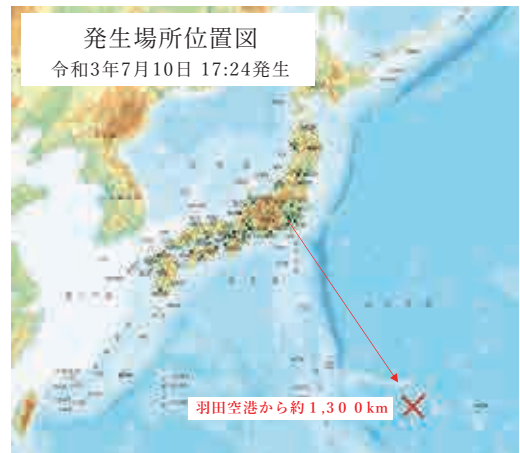
午前4時7分両機とも該船と会合し、午前5時17分UH-60Jが傷病者を吊上げ、機内に収容、硫黄島へ搬送を行った。

午前6時10分硫黄島において海上自衛隊UH-60Jから傷病者1名を海上保安庁LJ500に引き継ぎ、羽田空港へ搬送。

同日午前8時33分、空港にて待機していた日本医科大学付属病院ドクターカーへ傷病者を引き継いだ。



救助を待つ木材チップ船



発生場所位置図
令和3年7月10日 17:24発生

羽田空港から約1,300km

■ 慣熟訓練

洋上救急では、医師や看護師は巡視船やヘリコプターに乗り組み、遙か洋上まで出動し、厳しい自然条件や巡視船・ヘリコプターの動揺、騒音等の悪条件下での救命治療が必要とされます。

このため、全国各洋上救急センターの地方本部では海上保安庁の協力を得て、多数の医師・看護師がヘリコプター等に搭乗して機内等現場の状況を把握、あるいは模擬の緊急治療等を行う慣熟訓練を実施し、出動に備えています。



ヘリコプターでの応急処置訓練



後部甲板上にて吊上げ慣熟訓練



傷病者吊上げ訓練

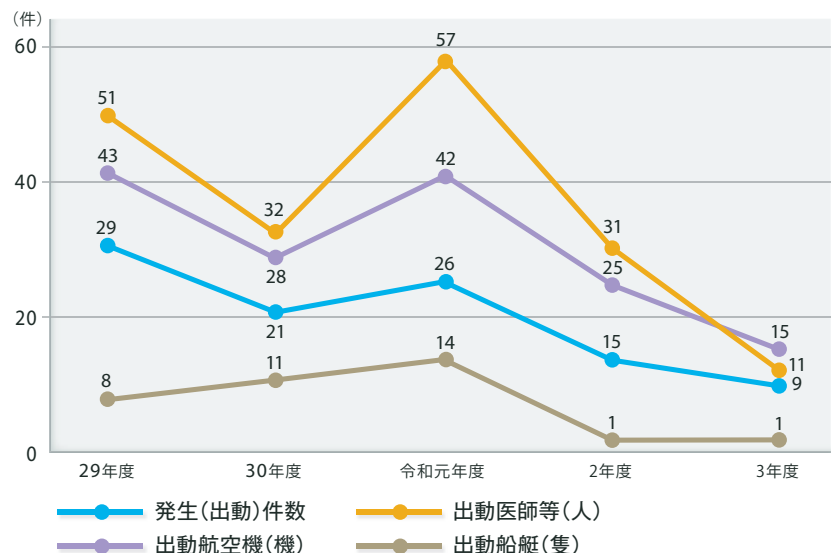
■ 洋上救急の発生件数及び出動実績

これまでの出動実績等

(昭和63年10月1日～令和4年3月31日)

- ◎発生(出動)件数 …………… 953件
- ◎傷病者 …………… 986名
- ◎出動医師・看護師…………… 1,804名
- ◎出動船艇・航空機等
- 巡視船艇 …………… 627隻
- 海上保安庁航空機 …………… 1,137機
- 自衛隊機 …………… 394機
- 特殊救難隊等 …………… 787名

— 過去5か年の実績 —



水難救済思想の普及

大自然の海を安全に楽しむための基礎的な知識・技能を体得してもらうと同時に、水難救済ボランティア活動に対する理解と普及を図るために、全国各地で「海の安全教室」を開催しています。



海の安全教室の開催

平成29年度から小中学生など学校関係者だけでなく、地元一般市民を対象に、各地の海上保安官やライフセーバーの方々を講師に招いて、海での事故を防ぐための知識のほか、万一、自分や友達等が海で遭難した場合に「助かる術」と「溺れた人などを安全に助ける術」を実地に手ほどきをする「海の安全教室」を全国の地方水難救済会主催で開催しています。



茨城県水難救済会が茨城海上保安部の協力を得て、小学校高学年を対象とした「海の安全教室」を開催（「浮いて待つ」を体験）

具体的な学習内容

■ 教室や体育館等において講師から事故防止などの講義



富山県水難救済会
富山市内の市立北部中学校においてAEDの取扱い等を学ぶ3年生生徒



佐賀県水難救済会
唐津市浜崎海岸において離岸流の危険性を学ぶ東唐津小学校6年生生徒

■ 「海の安全ハンドブック」による基礎知識の習得



「海の安全ハンドブック」を使っている講習会

「海の安全ハンドブック」の主な内容

- 海の基礎知識…波の種類、津波、離岸流とは？
風、インショアホール
- 危険な海洋生物…海の危険な生物の種類、基本的な対処法
- 海での注意事項、溺れた主な原因、水に落ちてしまったら
- 溺れている人を見つけたら（泳がないで助ける方法）
- 救命処置の流れ（心肺蘇生とAED）
- 自己救命索の確保「3つの基本」



大切な命は自分で守る…3つの基本

海に浮いておくこと

ライフジャケットの着用

連絡手段を持つこと

携帯電話の携行
(防水バック利用)

救助要請をすること

118番の有効活用



救命胴衣の着用訓練

■ 身近なものを使用した救助法の習得



特定被営利活動法人長崎県水難救済会
「うくっちゃボトル」を利用した救助法を体験



高知県水難救済会
高知市立長浜小学校においてペットボトルを活用した救助法を体験

■ 心肺蘇生法やAEDの使用方法を体験



富山県水難救済会
中学生を対象とした「海の安全教室」で心肺蘇生法の説明等



公益社団法人琉球水難救済会
名護市スポーツリハビリテーションセンター屋内運動施設において乳児用レサシアンを使用した心肺蘇生法を体験

自らの身を守るために

■ レスキューネットを自力で登り乗船体験



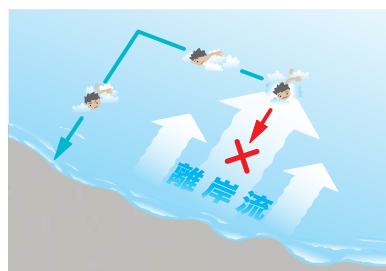
新潟県水難救済会
新潟市中央区日和山浜においてレスキューネットを使用した乗船体験

■ 「浮いて待て」背浮き体験



広島県水難救済会
広島市立五日市観音小学校のプールにおいて「浮いて待て」の体験

海水浴では離岸流に気をつけよう！



離岸流

岸から沖に向かって、強い流れを起こす離岸流。もし、巻き込まれてしまったら、まっすぐに戻ろうとせず、**海岸と平行に移動**し、離岸流から抜け出した後、岸に向かうようにします。

■ ライフジャケット・救命胴衣の着用体験



茨城県水難救済会
取手市立取手小学校のプールにおいて救命胴衣の着用体験

青い羽根募金

青い羽根募金は、全国約50,000人のボランティア救助員の活動を支えます。



●後援:国土交通省、海上保安庁、消防庁、水産庁

「青い羽根募金」にご協力をお願いいたします！

社会貢献活動の一環として、「青い羽根募金活動」にご協力して下さる団体、企業を募集しています。また、「青い羽根募金支援自販機」の設置に協力して下さる団体、企業、個人を募集しています。

●協力:国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会、各地方小型船安全協会、日本マリーナ・ビーチ協会、日本セーリング連盟、全国漁業共同組合連合会、日本ライフセービング協会、日本海洋レジャー安全・振興協会、日本サーフィン連盟、全日本磯釣連盟、NPOグローバル・スポーツアライアンス ほか



ポスターのモデルは、2021ミス日本「海の日」吉田さくらさん

募金活動

「青い羽根募金強調運動期間」のキャンペーンの一環として、例年7月上旬に、日本水難救済会会長と理事長がミス日本「海の日」とともに、国土交通大臣をはじめ海上保安庁長官、水産庁長官などを表敬訪問し、青い羽根募金運動の普及推進と強調運動へのご支援ご協力をお願いしております。

国土交通大臣等へ表敬訪問



石井国土交通大臣への表敬訪問(令和元年度)

海洋少年団やボーイスカウト等の皆様のご協力を得て募金活動



海洋少年団等のみなさんにご協力を得て募金活動をしていただきました。



青い羽根募金強調運動期間の令和3年7月9日、閣僚の皆様へ青い羽根を着用していただきました。(左から 赤羽国土交通大臣、茂木外務大臣、菅内閣総理大臣)



総理官邸に置かれた青い羽根募金箱

青い羽根募金支援自販機の設置

日本水難救済会では、青い羽根募金支援自動販売機の設置を全国展開しております。

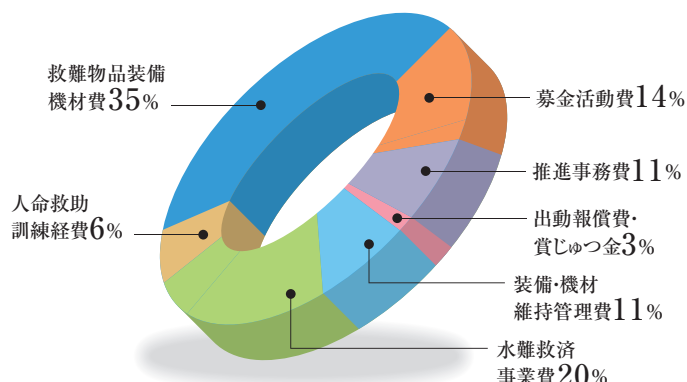
同自動販売機で飲み物をご購入いただきますと、売上金の一部が青い羽根募金として寄附されます。



■令和3年度の募金額は次のとおりです。

総額 80,307,116円

■令和3年度 青い羽根募金の使用実績



青い羽根募金の使途は部外の有識者で構成する青い羽根募金運営協議会委員の審議承認を得て決定されます。

救難用物品、装備、機材



救助船



ライフリング



AED装置



救難器具

口座振り込み等による募金の方法

口座振込みによる募金

郵便局

口座番号:00120-4-8400
加入者名:公益社団法人 日本水難救済会

銀行

三井住友銀行 日本橋東支店
口座番号:(普)7468319
加入者名:公益社団法人 日本水難救済会
青い羽根募金口

インターネット募金



●ホームページから以下の方法で募金ができます。●クレジットカードはMasterCard、VISA、JCB、AMEXがご利用できます。●NTTスマートレードが提供するネット専用電子マネー「ちょコムeマネー」がご利用できます。

お知らせ

平成27年4月から、毎月引き落とし方式のご寄附も頂けるようになりました。

毎月の自動引落とし定額募金

1,000円以上の定額を毎月自動引落としにより継続的に募金していただく方法です。

●お問い合わせ先 ☎️ 0120-01-5587 募金フリーダイヤルでお申し出くだされば、振込料無料の専用郵便振替用紙をお送りします。

寄附金に対する税制上の優遇措置

青い羽根募金は、海で遭難した人や船の救助活動にあたる全国のボランティア救助員約50,000人の活動を支援するための募金です。

公益社団法人 日本水難救済会は、「特定公益増進法人」となっていることから、青い羽根募金等(賛助会員になられた方の会費を含む。)による寄附金については、寄附金控除等の所得税・法人税の優遇措置が受けられ、個人の寄附については、「税額控除」又は「所得控除」のいずれかの方式を選択して、寄附金控除を受けられるようになっていますので詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.mrj.or.jp>

栄誉ある表彰

本会が実施している水難救済事業や洋上救急事業に関し、功労のあったボランティア救助員並びに協力医療機関及び医師・看護師などの皆様に対し、表彰審査委員会の審査を経たうえで、本会の名誉総裁と会長から表彰を行っています。

名誉総裁表彰

海難救助や洋上救急活動等に極めて抜群の功労があった個人・団体には、表彰状(又は感謝状)のほか名誉総裁章又は名誉総裁盾を贈呈いたします。



名誉総裁章(個人)



名誉総裁盾(法人・団体)

■ 名誉総裁表彰式典

本会の名誉総裁高門宮妃久子殿下のご台臨を賜り、名誉総裁表彰式典を開催しております。



名誉総裁高門宮妃久子殿下から表彰状を授与される受章者



平成30年度、令和元年度の名誉総裁表彰式典の様子
(令和2年度、3年度については、表彰式典は中止となりました)

令和3年度 名誉総裁表彰受章者(敬称略)

表彰の区分	功 績 の 例
海難救助功労(団体の部) 伊豆地区水難救済会 下田救難所	プレジャーボートが浅瀬に乗り揚げ航行不能となり転覆沈没のおそれがあると救助要請があり、直ちに救助船が現場に急行、日没後かつ暗礁や岩礁が散在し、うねりにより自船が座礁するおそれのある中、巧みな操船により同船に横付けし、乗船者4名全員を救助した。
海難救助功労(団体及び個人の部) 新潟県水難救済会 両津救難所 協力者:森川 武	遊漁船が浅瀬に乗り揚げ後、漂泊状態となり、乗船客が救助を求め、その後破口からの浸水により転覆・沈没の危険を感じた乗船者11名は海上に脱出、2隻の救助船が現場に急行、うねりのあるなか漂流していた乗船者全員を救助した。
事業功労(個人の部) 梶原 武/安田 規浩/磯島 義洋	水難救済事業の重要性を認識され、青い羽根募金として多年にわたり多額の寄附をした。
事業功労(個人の部) 原 知崇	母親のご遺志を汲み、日本水難救済会発展のためと多額の寄附をした。
事業功労(団体の部) SGホールディングス株式会社	青い羽根募金活動に会社を挙げて取り組み、多年にわたる貢献と多額の寄附をした。

会長表彰

海難救助や洋上救急活動等に功労があった個人・団体には、次のとおり表彰状または感謝状とともに、章又は盾を贈呈しています。表彰の対象は次のとおりです。



救助名誉功労章 救助特別功労章 救助功労章

救助出動回数功労章 団体救助功労章

■海難救助に従事する救難所員に対する表彰

海難救助等に功労があったボランティア救助員や救助員が所属する救難所に対して、救助功労表彰、救助出動回数功労表彰、勤続(永年従事)功労表彰などの表彰を行っております。

また、ボランティア救助員以外の方で、海難救助功労にご協力・ご援助をいただき、顕著な功労のあった個人・団体の方には感謝状を贈呈しています。

■洋上救急事業に従事する医療機関・医師等に対する表彰

洋上救急活動に功労があった医療機関や医師・看護師の方々に対して洋上救急功労の表彰を行っています。



金色名誉有功盾 銀色名誉有功盾 金色有功盾

■事業功労(金品の寄附を含む)に対する表彰

本会の事業に功労があった方に対して事業功労の表彰を行っています。なお、事業功労表彰には、本会に一定以上の金品のご寄附をしていただいた方に対する表彰も含まれます。



名誉有功章 特別有功章 事業功労有功盾(団体) 有功章(個人)

ご寄附に対する表彰基準について

■名誉総裁表彰の対象

5年以内に

- ◎100万円以上のご寄附をしていただいた個人
……名誉総裁章と感謝状
- ◎300万円以上のご寄附をしていただいた団体
……名誉総裁表彰盾と感謝状

■会長表彰の対象

5年以内に

- ◎10万円以上のご寄附をしていただいた個人又は団体
……感謝状
- ◎20万円以上のご寄附をしていただいた個人
……感謝状と有功章
- ◎20万円以上のご寄附をしていただいた団体
……感謝状と事業功労有功盾

〈参考〉紺綬褒章の上申について

一時に500万円以上のご寄附をされた個人、1,000万円以上のご寄附をされた法人・団体は、紺綬褒章の対象となりますので、本会から国に上申いたします。

より、効率的な救助システムの確立等のために…。

民間の海難救助体制のあり方や海外の海難救助体制などについて調査・研究を行っています。

これまでの主な調査研究項目

年 度	研究テーマ
昭和59年度～62年度	民間海難救助体制の検討
昭和63年度	レジャー海難における有効な救助艇・救助器材等の調査研究
平成元年度	民間海難救助体制活性化に関する調査研究
平成9年度～平成11年度	救難所員に対する災害保障のあり方
平成15年度～平成16年度	大規模地震災害等への日本水難救済会の対応に関する基礎的研究について
平成20年度	救助船の整備に関する調査
平成20年度～平成21年度	児童皆泳運動の実施要領の検討

災害補償など

ボランティア救助員の水難救済活動を支えるために…。

地方水難救済会傘下の救難所及び支所に所属するボランティア救助員が海難救助活動(災害救援活動を含む)や訓練中に災害を受けた場合に行う次の災害補償制度を設けています。

■ 災害補償

ボランティア救助員が海難救助活動または訓練中に災害を受けた場合、その被災の内容に応じて、救助員またはその遺族に対し、療養補償、障害補償、介護補償、休業補償、遺族補償、葬祭補償を行います。ただし、「海上保安官に協力援助した者等の災害給付に関する法律」が適用される場合は、これらの補償は受けられません。なお、この事業は公益財団法人 日本財団の助成を受けて行っています。

■ 賞じゅつ金

ボランティア救助員が災害補償の適用を受けた場合、功労の程度、被災の内容に応じて、殉職者賞じゅつ金、障害者賞じゅつ金を給付します。

★★★ 会員募集 ★★★

会員の皆様のご協力のもと、日本水難救済会は運営されています。



日本水難救済会では、本会の会員となって本会の事業をご支援していただける方々を募集しております。

会員は、本会の定款第8条の規定により「正会員」と「賛助会員」に区分されます。

■ 正会員は1号正会員と2号正会員に分かれています。

1号正会員……全国40の地方水難救済会(団体)のみ

2号正会員……本会の事業目的に賛同して、入会される1号正会員(地方水難救済会)以外の団体・個人の方々で、総会への出席など本会の事業に参画できます。

賛助会員……本会の事業を賛助する方々

■ 入会にあたり2号会員・賛助会員とも1口以上の会費の納付をお願いしています。(1口 10,000円)

■ 入会ご希望の方は、本会ホームページ又は直接、本会に申込みをお願いいたします。関係書類を送付させていただきます。

なお、入会に当たりましては本会理事会の承認が必要となり、個人正会員につきましては原則として正会員2人以上の推薦を要することとなります。

■ 地方水難救済会の会員として入会される場合には、それぞれの地方水難救済会事務局にお尋ねください。

★★★ Twitter はじめました! ★★★

美しい日本の海の安全に関わる情報、全国の救助のボランティアの活動等を皆さんに積極的に発信しています。

公式アカウント
@Qsuke_MRJ



令和4年4月1日現在

1号正会員(40)

(敬称略)

(公社)北海道海難防止・水難救済センター、青森県漁船海難防止・水難救済会、岩手県漁船海難防止・水難救済会、宮城県水難救済会、(特)秋田県水難救済会、山形県水難救済会、福島県水難救済会、茨城県水難救済会、千葉県水難救済会、(特)神奈川県水難救済会、新潟県水難救済会、富山県水難救済会、能登水難救済会、石川県西部水難救済会、福井県水難救済会、伊豆地区水難救済会、静岡地区水難救済会、愛知県水難救済会、三重県水難救済会、大阪府水難救済会、京都府水難救済会、兵庫県水難救済会、和歌山県水難救済会、高根県水難救済会、岡山県水難救済会、鳥取県水難救済会、広島県水難救済会、山口県水難救済会、徳島県水難救済会、香川県水難救済会、愛媛県水難救済会、高知県水難救済会、(公社)福岡県水難救済会、佐賀県水難救済会、(特)長崎県水難救済会、熊本県水難救済会、大分県水難救済会、宮崎県水難救済会、鹿児島県水難救済会、(公社)琉球水難救済会

2号正会員(158)

(五十音順、敬称略)

【海運……23】

飯野海運(株)、上野トランステック(株)、NSユナイテッド内航海運(株)、MOLケミカルタンカー(株)、大阪船舶(株)、川崎汽船(株)、関東港運(株)、国華産業(株)、コスモ海運(株)、三翔海運(株)、(株)商船三井、商船三井ドライバルク(株)、太平洋フェリー(株)、鶴見サンマリン(株)、藤光海運(株)、トヨフジ海運(株)、ナヴィス東京(株)、日本郵船(株)、早駒運輸(株)、マルエーフエリー(株)、三菱鉱石輸送(株)、名鉄海上観光船(株)、リベラ(株)

【海洋土木・サルベージ……6】

(株)オフショア・オペレーション、東京サルベージ(株)、日本サルヴェージ(株)、深田サルベージ建設(株)、(株)富士サルベージ、三国屋建設(株)

【水産・漁業……3】

厚岸漁業協同組合、ニチモウ(株)、日本水産(株)

【マリンレジャー……12】

アキレス(株)、志摩マリンレジャー(株)、トーハツ(株)、(株)ナウイエンタープライズ、ブルーライン淡路、ヤマハ発動機(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)東京販売部、ヤンマーパワーテクノロジー(株)大阪販売部、ヤンマーパワーテクノロジー(株)四国販売部、ヤンマーパワーテクノロジー(株)中国販売部、ヤンマーパワーテクノロジー(株)九州販売部

【造船・船用機器等……17】

(有)カザワトレーディング、(株)カシワテック、(株)ケイセブン、興亜化工(株)、国際化工(株)、島田燈器工業(株)東京支店、(株)シバウラ防災製作所、ジャパンマリンユナイテッド(株)、(株)湘南工作所、墨田川造船(株)、(株)ゼニライトブイ、高階救命器具(株)、トーエイ(株)、東洋物産(株)、日本船具(株)、日本特装(株)、日本無線(株)

【エネルギー……2】

三菱石油(株)、(株)JERA

【船舶保険……3】

東京海上日動火災保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、明治安田生命保険相互会社

【代理店その他……16】

(株)エッジコーポレーション、(株)江戸川自動車教習所、弁護士法人 岡部・山口法律事務所、海文堂出版(株)、(株)交文社、金刀比羅宮、静岡県立三ヶ日青年の家、(株)スミエプランニング、(株)成山堂書店、(株)太陽、(株)東京カップ、東京法令出版(株)、トヨタ自動車(株)、(株)中日本開発、(株)日本海事新聞社、(株)日本海洋科学

【団体……36】

厚岸町役場、(一社)江の島ヨットクラブ、(一財)海上災害防止センター、(公財)海上保安協会、全国海運組合連合会、(公社)全国漁港漁場協会、全国漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、(一社)全国底曳網漁業連合会、全国内航タンカー海運組合、全国海苔貝類漁業協同組合連合会、全日本内航船主海運組合、(特)東京救難所、東京湾水先区水先人会、日本遠洋施網漁業協同組合、(公財)日本海事広報協会、(公社)日本海難防止協会、(公社)日本海洋少年団連盟、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会、日本かつお・まぐろ漁業協同組合、(公社)日本観光振興協会、日本漁船保険組合、(一社)日本港運協会、(特)日本水上オートバイ救助普及協会、(一財)日本水路協会、(一社)日本船主協会、(一社)日本船長協会、(一社)日本船舶機関士協会、(公財)日本セーリング連盟、日本内航海運組合総連合会、(一社)日本船用工業会、(一財)日本舶用品検定協会、(一社)日本マリーナ・ビーチ協会、(一社)日本マリン事業協会、(一社)日本旅客船協会、横浜港運協会

【個人……40】

相原 力、秋本茂雄、浅井廣志、麻生利勝、安藤大三、石井政治、石川裕己、伊藤 滋、伊藤裕康、岩並秀一、植松 修、大塚蒼人、小山内智、加賀谷尚之、加藤 甫、鎌田耕作、上岡宣隆、菊井大蔵、北村浩志、久保禎人、倉田大輔、小谷勝廣、佐藤雄二、高尾留雄、武井立一、遠山純司、磨 良三、友永幸謙、中島 敏、西鍵 徹、平田友一、Page T純江、Page Jun M、星 澄男、松井孝之、向田昌幸、矢野峰男、山本了三、横山鐵男、米山隆昭

賛助会員(45)

(五十音順、敬称略)

【エネルギー……5】

ENEOS(株)、九州電力(株)、西部ガス(株)、中国電力(株)、東京ガス(株)

【造船・船用機器……4】

(株)IHI原動機、(株)三和ドック、富永物産(株)、三菱造船(株)

【保険……1】

(株)ホーム・リング商会

【海洋土木・サルベージ……10】

(株)青木組東京本店、あおみ建設(株)、(株)大本組東京支店、五洋建設(株)、信幸建設(株)、タチバナ工業(株)、東亜建設工業(株)、東洋建設(株)、(株)トマック、若築建設(株)

【その他……13】

(株)海、エアロシルフィード、(株)大の木ダイモ、(有)海交会、(株)舵社、北九州エアターミナル(株)、サンコー薬品(株)、昭和日タンマリタイム(株)、(株)ジョーエイ、(株)時評社、セナーアンドバーズ(株)、東亜海運産業(株)、東陽商事(株)

【団体……3】

(一社)海洋産業研究・振興協会、外航船舶代理店業協会、(一財)日本船舶技術研究協会

【個人……9】

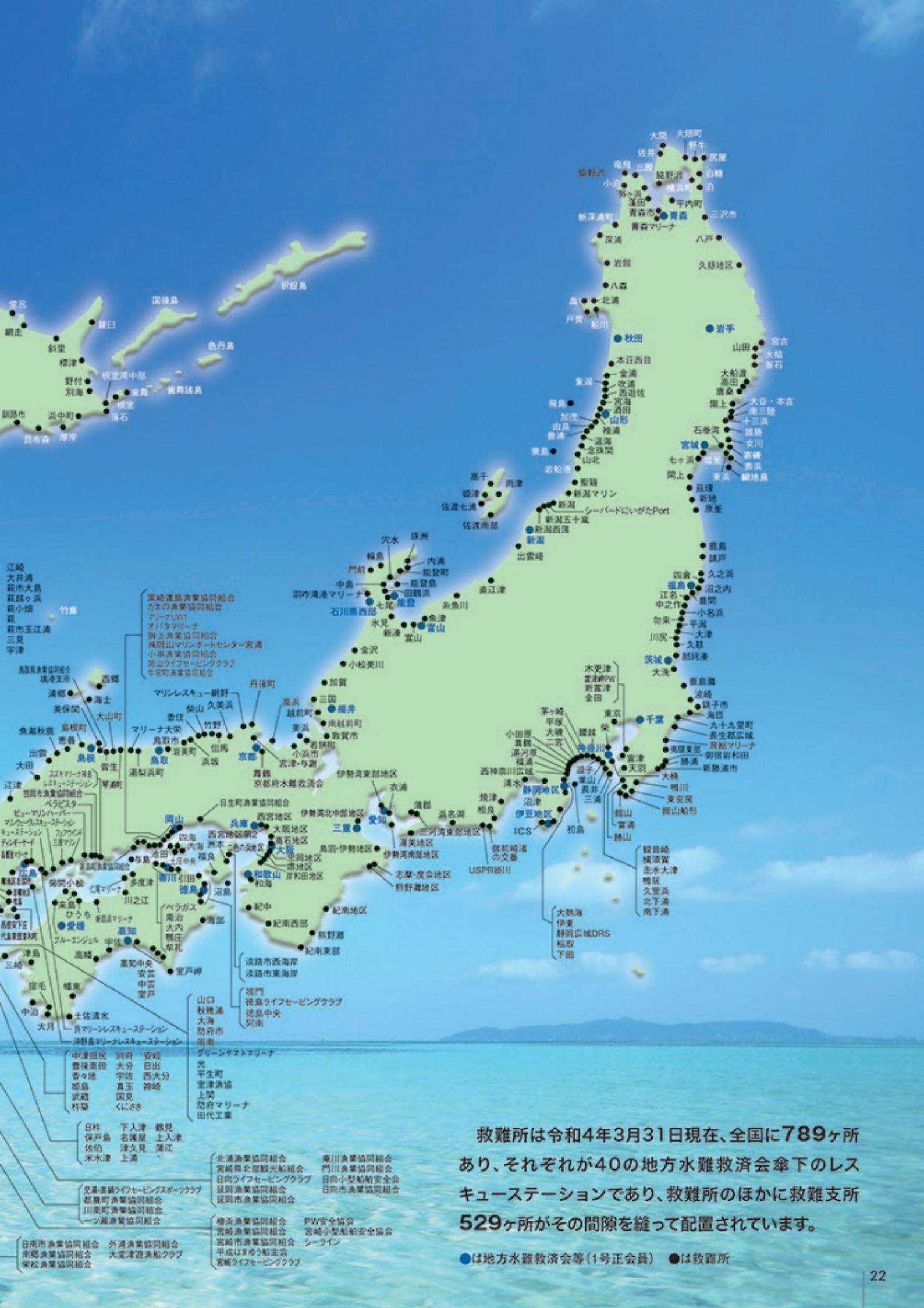
岩崎貞二、小栗完一、小幡拓司、木下栄次、佐藤智彦、中由光徳、宮崎一巳、森 博史、柳田正行

注) (公社)は公益社団法人、(一社)は一般社団法人、(公財)は公益財団法人、(一財)は一般財団法人、(特)は特定非営利活動法人を表わす。

日本全国の沿岸をカバーする 地方水難救済会等に所属する救難所配置図

沖縄諸島 拡大図





救難所は令和4年3月31日現在、全国に789ヶ所あり、それぞれが40の地方水難救済会傘下のレスキューステーションであり、救難所のほかに救難支所529ヶ所がその間隙を縫って配置されています。

●は地方水難救済会等(1号正会員) ●は救難所



青い羽根募金は、全国のボランティア救助員約50,000人の
尊い活動資金として使用されます。
国民の皆様のご協力をお願いします。



海難救助の際に使用する人命救助のための救命浮輪を図案化したもので、公益社団法人 日本水難救済会の記章及び会旗に使用しています。



全国地方水難救済会の傘下に所属するボランティア救助員の救助活動を支援するため、平成10年にMRJ(MARINE RESCUE JAPAN(マリンレスキュージャパン))として、図案化されたもので、平成16年に当会の「マーク」として制定されたものです。



海で遭難した方々の救助を行うボランティア救助員を支える当会の活動を広く国民の皆様様に理解を深めていただくため、青い羽根募金をはじめ本会が行う各種事業に関する広報・啓発活動に使用するため、平成25年3月にマスコットキャラクターとして制定し、「きゅうすけくん」と命名しました。



平成27年10月1日に洋上救急制度創設30年を迎えるに当たり、それに先立つ同年1月に、「きゅうすけくん」の洋上救急バージョンとして制定したものです。



公益社団法人 日本水難救済会

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル7階
TEL:03-3222-8066 FAX:03-3222-8067 E-mail v1161@mrj.or.jp

■ホームページ <https://www.mrj.or.jp>

■ツイッター公式アカウント @Qsuke_MRJ